

## 附属図書館ボランティア 5 周年記念式・講演会開催

みなさん、附属図書館ボランティアをご存知ですか？附属図書館では、現在48名の方がボランティアとして次のような活動をしています。

- ・中央図書館 2 階のボランティアカウンターでの簡単な図書館総合案内、外国人の図書館利用支援、身体障害者の利用補助
- ・視覚障害者のための対面朗読サービス
- ・書架の整頓・清掃等の利用環境整備
- ・体育・芸術図書館のポスター資料整理の補助

この他にも留学生のためのオリエンテーションの補助、フレッシュマンセミナーの補助、高校生や PTA の館内見学案内といった活動があります。



活動中のボランティア  
(左：書架の整頓 / 右：館内見学案内)

〔平成11年度の活動から〕

中央図書館のメインカウンターを左手に、まっすぐ進むとボランティアカウンターがあります。このボランティアカウンターを利用した人は延べ 3,150 人、質問件数は 3,251 件で、その 25% が学外者、21% が外国人でした。また、ボランティアカウンターでの質問は資料配置に関するものが最も多くなっています。探している資料が書架に見つからない時や、検索した資料の場所がわからない時など、一緒に書架まで行って探すのを手伝ってもらえることもあるので、図書館を使い慣れていない利用者にとってボランティアは特に頼りになる存在といえるでしょう。

対面朗読サービスは延べ 324 時間、高校生や PTA の館内見学案内は 35 件（案内した人数は合計 1,854 人）行われ、これらの活動が定着してきていることがうかがえます。

附属図書館では、平成 7 年 6 月に発足したボランティア活動が 5 周年を迎えたことを記念し、6 月 19 日（月）に附属図書館ボランティア 5 周年記念式及び講演会を開催しました。

〔記念式〕

記念式では板橋秀一附属図書館長、阿部生雄ボランティア専門委員会委員長から活動 5 周年を迎えての記念の挨拶がありました。

板橋附属図書館長は他大学からもボランティアについての問い合わせが多いことに触れ、「ボランティアには利用者支援を通して図書館活動に貢献していただくと同時に、その活動を通して気づいたことを忌憚なく図書館に伝えていただいて、図書館とボランティアの双方にとってよい方向を目指したい。みなさんの活躍をお祈りするとともに後継の方にノウハウが伝わるような仕組みを作ってほしい。」と今後の活動への期待を述べられ、阿部委員長も「教員の立場からボランティアの自発性・個性・技術を図書館の業務にうまくつなげるような働きかけをしたい。また、大学図書館のボランティアは大変先進的な試みであり、新たな歴史形成にあたっているのだという意識を持って活動してほしい。」と述べられました。

続いてボランティア代表の柳沢由紀子氏から、「活動開始の頃から比べると、ボランティアカウンターも大変立派になってすばらしい活動に結びついてきたのではないかと思います。ボランティアが図書館を利用される方にとって心強い存在でありたいと励みつづけると同時に、生涯学習の精神に沿って高め合うような活動をしていきたい。大学図書館ボランティアの先駆けとして、これからも充実・発展していきたい。」と、活動への強い意欲

を感じさせる挨拶がありました。

#### 〔講演会〕

記念式に引き続き、本学教育学系教授の山内芳文先生を講師にお招きしての講演会「子ども・本・学校 - 絵でみるヨーロッパ教育文化史」が開催され、附属図書館ボランティア、図書館部職員ら約40名が出席しました。

山内教授は古代・中世・近世から近代までの書物の変遷と教育の変遷について、書物の形態・材質、教育が行われる場所、教育現場で使われた書物等を題材として説明されました。

また、附属図書館の貴重書庫に保存されている図書や OHP の画像、山内教授が栽培されたパピルスといった「目で見える資料」を数多く交えながらのお話で、参加者が初めて見る本物のパピルスに驚いたり、貴重書の重厚さ、古書の色鮮やかさに感心する場面も多くありました。講演は約50分の予定で行われましたが、時間が足りなくなるほどの豊富な内容に参加者は熱心に耳を傾けていました。

講演終了後には質疑応答が行われ、参加者の関心の高さを示すような質問がありました。



講演をする山内教授（左上）と参加者（右下）

5周年という節目の記念式・講演会を終えて、附属図書館ボランティアからは「先生方のお話を伺って力を得た思いがする。」との声もあり、活動に対する熱意が一層高まっていることがうかがえました。

（図書館公開係）



## ASK US としょかんミニガイド

### 新聞記事の探し方について

Q：中央図書館では、今日の新聞はエントランスホールにありますけど、昨日の新聞やもっと古いものはどこにあるんですか？

A：1階にありますよ。タイトル別にだいたい10日ごとにまとめてあります。日本の主要新聞は2ヶ月くらいで縮刷版が出ます。1階新聞コーナー奥の小さい部屋の電動書架にありますので、そちらを見てください。もっと古いものだとマイクロフィルムで所蔵しているものもあって、そうすると視聴覚メディア室にあります。スポーツ新聞などは体芸図書館に揃っていますから、まずはOPACで検索するのを忘れないでくださいね。

Q：実は、あるテーマについて記事を追いたいと思っていますんですが...

A：縮刷版には索引がついていますから、それで調べられますけど、ちょっと大変かもしれないですね。最近の記事についてだったら、主要な新聞はCD-ROMなどで記事の中の言葉から検索できますから、それを使ってみてはどうですか。  
(<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/reference/haichizu/t-2fb-new.html>)

Q：それはどこで使えるんですか？

A：図書館で使えるものは、中央図書館2階のボランティアカウンターの横に並ぶ端末がCD-ROM優先のもので、朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞の検索ができます。（毎日新聞は1999年分までになります。）新聞によりませんが、だいたい90年代以降のものですね。特に朝日新聞は今年からCD-ROMではなく“DNA”という記事検索サービスが使えるようになりました。